

6月議会の報告



「防災行政無線を利用した全国瞬時警報システムの運用について」

質問：防災行政無線の一部難聴地域についての解決策は？

答弁：防災行政無線は現在58基ある。屋外で聞く事を前提とし、難聴地域が有るのは承知済みだが地域の特定は出来ていない。難聴の原因説明と地域を特定し改善策を講じたい。又、難聴地域では個別受信機、災害用ラジオなどの補完機能の導入も研究していく。現在、難聴地域特定のため、全自治会へ調査を依頼。

(現在集計、解析、説明中です)。

トピックス!!

防災ラジオ配布決定 (12月議会で決定)

防災行政無線が聞き取りにくい家庭、約5000世帯を対象に平成24年6月頃に、先行して全自治会に約1500台を無償配布し、その後、意向調査を実施の上、残り3500台分を配布対象世帯や補助額などを再検討する方針。



※この防災ラジオは、AM、FM受信機能とライト付きで家庭用電源と乾電池の両用ができ、電源ON時には、優先的に緊急放送が自動的にながれます。

つるがしま散歩



鶴ヶ島の史跡



鶴ヶ島発祥の地記念碑

9月議会の報告

「都市計画道路 鶴ヶ島日高線 の開通について」

質問：この道路は埼玉国際医療センターが出来、近く共栄一本松線の開通もあり、また地域の整備や活性化の為に開通の必要性が高まっているのでは？

答弁：鉄砲道の交通量緩和や町屋地区の排水対策の為に重要路線だ。道路の整備率は鶴ヶ島市では30%、日高市は約40%である。平成3年1月以降、日高市との正式協議無し。整備の優先順位は高いと考えるが、市の財政状況や日高市の意向等を踏まえ総合的に判断をしていく。

市長答弁!!

上新田の鉄砲道の交通量の多さを思うと非常に危険な状態だ。

解決に向けて鶴ヶ島日高線の重要度は高い。また日高市との関係も含めて重要である。共栄一本松線全線 (平成25年4月) 開通予定の計画を勘案し財政問題も考慮しながら、現在、内部での検討を進めている。



12月議会の報告

「第5次鶴ヶ島市総合計画の成功のために」

質問：急速に進む少子高齢化の世の中で人口の減少による市税の収入減が懸念される。税収の元となる人口の増加を促進する具体的な対策は？

答弁：総合計画の前文「元気あふれるまち」をめざし子育て政策の拡充や、教育環境の整備を更に促進し住み良いまちづくりのため住民サービスの向上に努める。平成24年度中には、福祉政策、子ども環境の支援の一環として中学生までの、外来医療費と入院費の無料化に向け現在調整中。



トピックス!!

“子どもたちの給食の安全がはかられました”

給食センターでは食品中の放射性物質を測る高性能測定器を導入決定。

“市営水道水の安全がはかられました”

坂戸鶴ヶ島水道企業団では水質中の放射性物質を測る高性能測定器を導入決定。

“子どもたちの保健衛生がはかられました”

保健センターでは「ヒブワクチン」対象は生後2ヶ月～5歳まで無料接種決定 (骨髄炎、知的障害、発育障害、聴力障害の予防)

また、「子宮頸がんワクチン」対象は中学1年生～高校1年生までの女性も無料接種が決定されました。